

経営比較分析表（令和4年度決算）

青森県 中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	31	対象	透1未訓方	救臨が感へ災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
1,225,497	59,131	非該当	非該当	7：1

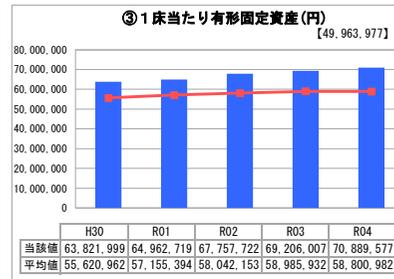
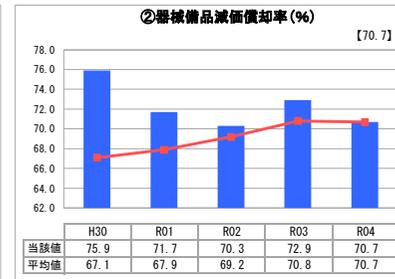
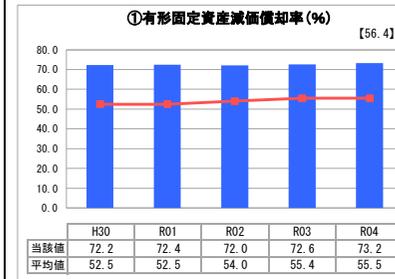
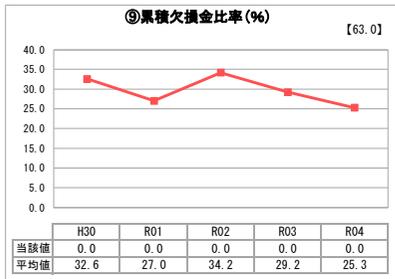
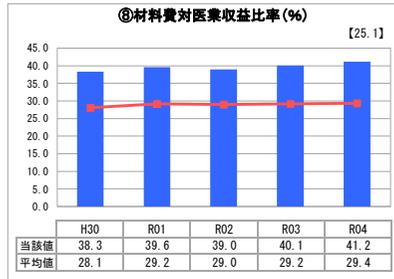
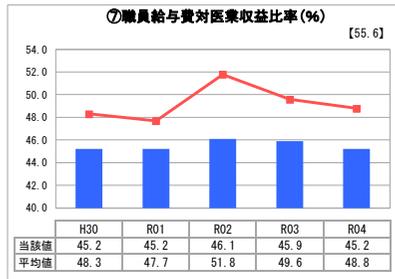
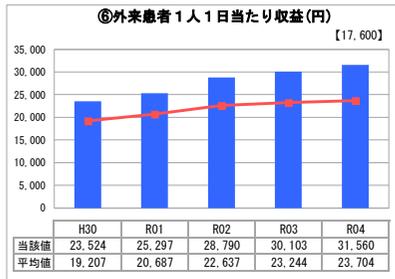
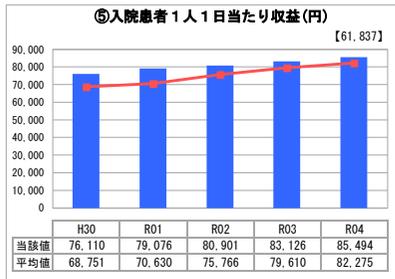
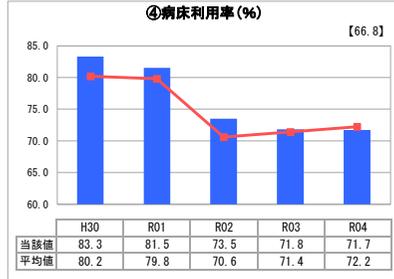
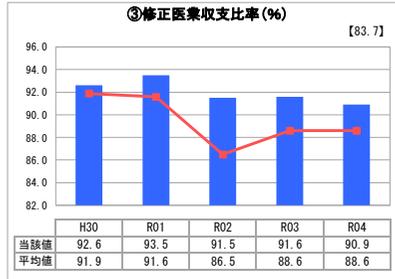
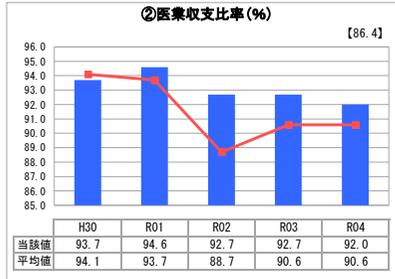
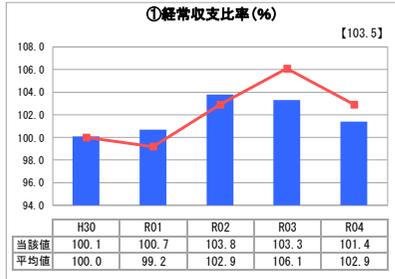
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
679	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	5	684
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
679	-	679

グラフ凡例		
■	当該病院値（当該値）	
—	類似病院平均値（平均値）	
[]	令和4年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の縦横・ネットワークを基に)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

県全域を対象とした高度急性期病院として、質の高い高度・専門医療を提供するとともに政策医療にも積極的に取り組んでいる。具体的には、5疾病・5事業をはじめとする各種診療の高度化と効率化を図りながら、チーム医療を更に推進し、高度・専門・政策医療を一層充実していくものである。また、地域医療支援病院でもあり、本県唯一の県立総合病院として、医療従事者の育成や地域内の医療機関等との連携を強化し、地域医療の支援を行うものである。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は平均を下回っているものの、② 医業収支比率、⑤ 入院・⑥ 外来患者1人1日当たり収益は、平均を上回っており、医療の効率化による平均入院日数の短縮などに、地道に取り組んできた成果が表れているものである。
④ 病床利用率は、新型コロナウイルス感染症の影響等により減少しており、新入院患者の受入のための医師確保、地域連携及びベッドコントロール効率化を更に推進する必要がある。
⑦ 職員給与と費対医業収益比率は平均を下回っており、診療報酬加算の取得・維持等とのバランスも見ながら、計画的に人員確保を行っている。
⑧ 材料費対医業収益比率は平均を上回っており、当院ががん患者の比率が高いことが要因の一つと考えられる。このことを踏まえ、薬品等の価格交渉や報酬算定の精度向上をより一層進めていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

現院舎を供用開始してから令和4年度で41年が経過し、建設当時の想定を超えた医療技術・産業技術の進歩や、高度化・多様化した医療ニーズへの対応が難しくなりつつある。
また、当院に求められる高度・専門・政策医療を提供していくためには、最新の医療機器及びシステムを設置するためのスペース確保や、設備更新及び修繕など、施設の老朽化への対応が課題となっている。

全体総括

経営については、医療機能や地域との医療連携の強化並びに経営効率化に向けて地道に取り組んできた成果が表れているが、物価高騰等の影響による費用増加傾向にあり、「県立病院第2期チャレンジプラン〜ポストコロナに向けて〜」に基づき、引き続き計画的な病院運営を行っていく。
老朽化が進む現院舎、医療設備については、当院の現状と課題などについて、改めて分析・整理を進めつつ、今後必要となる病院機能などについて青森市との共同経営・統合新病院整備の検討状況を踏まえ、将来像を検討していく必要がある。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。